

農丸株式会社 代表取締役 品川 誠吾 氏 取締役 山田 要一 氏

就農1年目

就農4年目

【就農のきっかけ】

ふたりとも広島市在住で非農家出身。代表取締役はこれまで食品の流通や卸に携わり、いつかは農業や漁業をしたいと考えていた。5～6年前に志和地区のねぎ栽培会社社長と知り合い意気投合。交通アクセスがよい志和地区に農地が確保でき、東広島市での生産が少なくニーズのある玉ねぎを選び、ねぎ栽培会社に勤務していた取締役とふたりで農丸株式会社を設立し就農。

【課題と解決】

ねぎ栽培会社から農業機械を借用するなど初期投資を抑え、農地もねぎ栽培会社社長から紹介してもらい確保。

【今後の経営方針】

規模拡大して収穫量を確保し、学校給食をはじめ業務用のシェア拡大を目指す。規格外品はむだにせず3D冷凍たまねぎやカットたまねぎに加工し販売。



品川（しながわ）さん 山田（やまだ）さん

【経営状況】

- ◆設立：令和4年11月
- ◆耕作面積：約40a（たまねぎ）
- ◆雇用人員：繁忙期アルバイト数名
- ◆販路：学校給食など



ほ場風景



たまねぎ



3D冷凍たまねぎ

就農を考えている人への一言

就農するとき、いつも店頭で陳列され消費者ニーズがなくなることはない主要なものである「たまねぎ」を選んだ。販売戦略も必要。